



# UP-BORN LEATHERの 施工時とお手入れに関する注意点

UP-BORN  
LEATHER

本製品は、**本革を原料とした製品**です。下記の事項に注意してご使用ください。

## 施工に関する注意点

- ・施工時の推奨ボードと接着剤 【ボード】ベニヤ、合板、MDF、パーティクルボード 【接着剤】ゴム系接着剤、酢ビ系接着剤
- ・基材への接着施工時などに圧力がかかると、表面のエンボスが潰れることで意匠感が変化する場合があります。
- ・アップボーンレザー単体でカットする場合は、丸鋸チップソーなどは使用せずハサミやカッターなどでカットしてください。
- ・基材に貼った状態でのカットは、超鋼刃チップソーを推奨します。  
ダイヤモンドチップソーは、木口面のバリや焼けの原因となりますので使用しないでください。
- ・施工時はアップボーンレザーのコバ面(小口)が隠れるように、小口材などで加工してください。
- ・施工時のゴム系接着剤の拭き取りは、ゴム糊専用拭き取り剤で拭き取ってください。  
酢ビ系接着剤の場合は、かたく絞った布で水拭きし、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・重いものを製品の上に置いたまま長時間放置した場合、圧着跡が残りますのでご注意ください。

## 使用できない用途、場所

- ・本革、他の人工皮革製品などと比較し伸縮性、屈曲性が劣るため、ソファの張地など、伸縮が必要となる用途では使用できません。
- ・水回り、頻繁に水がかかる場所、常時多湿環境では使用できません。
- ・エアコンの吹き出し口付近、暖房器具近くなど、熱や風が直接当たる場所では使用できません。
- ・直射日光が当たる場所では使用できません。

## お手入れ方法

- ・液体が付着した場合は、速やかに柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- ・お手入れの際は、かたく絞った布で水拭きし、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れ、指紋が目立つ場合、本革用クリーナー、ガラスクリーナーなどが有効ですが、メーカーの使用注意事項を必ず確認の上、使用してください。
- ・ベンジン、シンナー、化学ぞうきん、ウエットティッシュ、靴クリームなどは、色艶の変化や軟化の原因になりますので使用しないでください。
- ・アルコール除菌剤、次亜塩素酸液などは、目立たない部分で試し問題がないことが確認できてからご使用ください。  
除菌・抗菌・抗ウイルス対策については、イビケン製 "ウイルヘルスプレー" をお奨めします。

## ● 一般物性

項目	試験内容	結果		
1.引裂荷重(シングルエッジ)	JIS K 6557-3に基づき試験	引裂き荷重	平行 10.2N	垂直 9.0N 平均 9.6N
2.耐屈曲性(乾燥試験)	JIS K 6557-8に基づき試験	表面:亀裂	回数:20000回	
3.仕上膜の剥離強さ(乾燥)	JIS K 6557-9に基づき試験	17.8N/10mm		
4.染色堅ろう度(耐光)	JIS L 0843に基づき試験	5級以上		
5.染色摩擦堅ろう度	JIS K 6559-3に基づき試験 摩擦回数 乾燥:500回、湿潤:250回、アルカリ性汗:80回 摩擦距離 35mm 荷重 9.8N ただし、アルカリ性汗液は、JIS K 6560の箇条5.5b)に規定するアルカリ性人工汗液を用いた。		変退色(級)	汚染(級)
		乾 燥	4~5	4~5
		湿 潤	4~5	4~5
		アルカリ性汗	3~4	4~5
6.水滴試験	ISO 15700に基づき試験	30分後:表面に水滴が残り、 湿潤を示さなかった 16時間後:変退色5級		
特定化学物質	ホルムアルデヒド及び、REACHに該当する物質※は製品に含んでいません。 ※21年7月時点			

・上記のデータは、代表品番による測定値であり保証値ではありません。

・項目1~6は東京都立皮革技術センターにて測定

# アップボーンレザー施工の手順

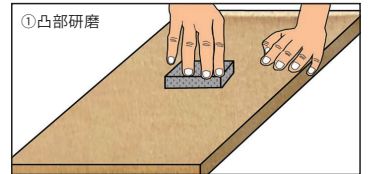
- 本施工マニュアルは、木質ボードにゴム系接着剤を使用した標準的な貼り付け方法を例にしております。  
なお、材質や加工内容、環境条件などの違いによって、予期せぬ結果がもたらされる可能性があります。
- 本製品は天然の本革が原料ですが、工業製品として再形成していますので、本革と品質特性が異なります。
- 片面貼りだと反りが発生する恐れがあります。事前に検証をし、使用してください。

接着方法 《推奨接着剤：ゴム系溶剤形接着剤（速乾ボンド）、推奨基材：木質ボード（合板・パーティクルボード・MDFなど）》

- ①接着前にアップボーンレザー裏面、および基材表面のホコリ・汚れ・付着物を清掃してください。

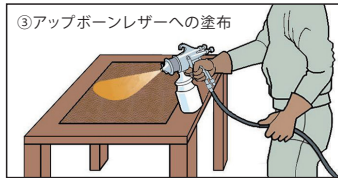
パテの切削粉などは接着不良の原因になりますので入念に清掃をお願いします。

また、本製品は1.2mmの厚みがありますが、ゴム板状の素材のため凹凸や波打ちを拾いますので、基材の凸部はサンドペーパーで平滑に仕上げてください。

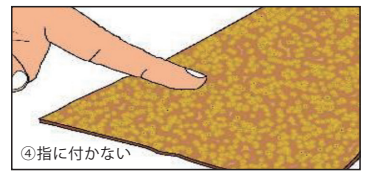


- ②接着剤を塗布する周辺を、マスキングテープ、養生シートなどで保護します。

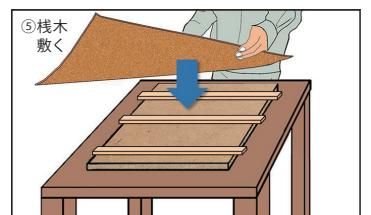
- ③広い面積を接着する場合、スプレーガンを使用して、使用する接着剤メーカーが推奨する塗布量にてアップボーンレザー裏面、および基材表面に接着剤を均一に塗布します。



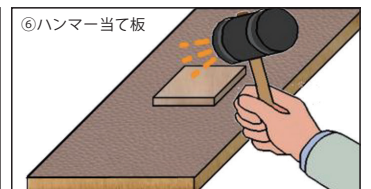
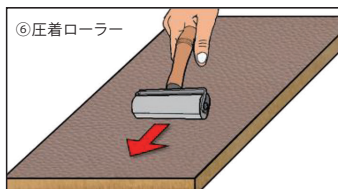
- ④塗布後10分～20分オープンタイム（メーカー推奨基準を参照）を取り、塗布面に光沢がなく、指で触って接着剤が付かず、少し湿り気がある程度に乾かしてください。



- ⑤オープンタイム経過後、アップボーンレザーと被着体を空気が中に入らないように注意し、端から順番に手で押さえて貼り合わせます。巻き癖やうねりがある場合がございますので、引張りながら慎重に仮固定をしてください。また、速乾接着剤は一度付くと剥がせず、特にサイズが大きい場合はレザーの取り回しが難しいため、貼り位置を微調整できるように基材の上に栈木を敷いて仮置きし、端部から順にレザーを貼ります。貼った位置から順に、栈木を抜いていきます。



- ⑥仮固定後すぐに、表面を鉄や樹脂のローラーを使用して端部から順番に材料をしっかりと押さえて密着させます。角のあるものやハンマー等で革を直接叩いたりしないでください。キズやシワ、破れの原因となります。ゴムハンマーを使用する際は必ず当て板をしてください。



## 注意事項

- ①接着剤のミストが付着した場合、接着剤メーカー推奨の拭取り液か、ヘキサンを主成分としたパーツクリーナーでふき取ってください。シンナーや塗料薄め液などの有機溶剤で清掃するとアップボーンレザー表面の白化や変色が生じることがございます。
- ②アップボーンレザーに汚れが付着した場合は、上記パーツクリーナーか雑巾等の柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を染み込ませて固く絞りふき取ってください。
- ③水濡れは厳禁です。もし水がかかった場合は、速やかにふき取ってください。